

報道関係各位

岩手県立大学社会福祉学部

認知症フレンドリープロジェクトによる認知症見守り声かけ訓練の実施について

岩手県立大学社会福祉学部では、認知症フレンドリープロジェクトの取組みの一つとして、一戸町社会福祉協議会および一戸町地域包括支援センターと共に、認知症見守り声かけ訓練を実施するのでお知らせします。

この訓練は、「認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり」をめざして、一戸町地域包括ケアシステム検討委員会および、岩手県立一戸高校、岩手県立久慈東高校、イコウショッピングセンター、株式会社ベルジョイス、株式会社菅文、オレンジカフェさくらの会の協力により実施するものです。

記

- 日時：10月2日（土）9：15～12：15
- 場所：一戸町コミュニティーセンター多目的ホール
- 内容：まちの中で、認知症役の人が迷子や行方不明になったという想定のもと、参加者（住民）が認知症役の人に声をかけ、保護につなげる
（講義）＊認知症の人が行方不明になったときの対応について（二戸警察署・二戸消防署一戸分署）
＊声のかけ方について（岩手県立大学社会福祉学部 教授 柏葉英美）
（実践訓練）グループに分かれて設定したコース（4コース）で訓練を行います。
（まとめ）参加者およびスタッフの意見の集約
＊継続して実施できるようマニュアルの作成
参加者・スタッフの意見を町民に周知
- 対象者：地域住民
- その他
＊雨天の場合は、一戸町コミュニティーセンターおよびイコウショッピングセンター内で実施
＊岩手県立大学社会福祉学部認知症フレンドリープロジェクト事業として実施することから、VR認知症体験（12月14日）および一戸町アイ・ステートメント（認知症フレンドリーの指標）の提言（県立一戸高校で実施予定）の作成を行います。

【認知症フレンドリープロジェクトとは】

地域包括ケアの推進に寄与することを目的に、認知症になっても住み慣れた地域で自分らしさを発揮し、できるだけ長く地域で生活できるよう、地域住民が支えあう認知症フレンドリーという視点に立って、情報発信やネットワークの構築、世代間交流を通してのインタージェネレーションケアの実践等を行うもの。

【問合せ先】岩手県立大学社会福祉学部 教授 柏葉英美 TEL:019-694-2388